

# 福島県会津美里町と 友好都市協定を締結！



## 殺生石伝説がつなぐ縁で、両町の友好と発展を

町は、「会津」発祥の地として知られる福島県会津美里町と友好都市協定を結びました。当町としては大洗町に続く友好都市協定で、10月15日りんどう湖ロイヤルホテルで行われた友好都市協定書等調印式では、高久勝那須町長と渡部英敏わたなべひさとし会津美里町長が友好都市協定書に調印したほか、災害時における相互応援に関する協定書も取り交わし、両町の交流と発展に互いに協力することを確認しました。

### これまでの経緯

大昔、九尾の狐が化身した殺生石を、源翁和尚が一喝すると3つに割れて飛び散ったという伝説があります。（※諸説あり）

その一つが会津美里町（旧会津高田町）に飛来し、災いを引き起こしていたことから、たたりを鎮めるため「殺生石稻荷神社」が造営されました。

両町の交流は、殺生石伝説つながりから、平成20年の「那須九尾まつり」へ招待したのがきっかけで交流が始まり、「会津美里町あやめ祭り」など、お互いのイベントに参加し交流が続いていました。昨年の「新鶴ワイン祭り」の際、両町長の間で、お互いの資源を生かした交流によって、町の活

性化に繋がりたいという想いと、東日本大震災を経験し、大規模災害時における相互応援の必要性の認識から、表敬訪問・事前調整会議等を重ねてきました。

### 会津美里町ってどんな町？

#### ▼概況

福島県の西部に位置し、那須町から約55kmの距離にあります。緑豊かな森林に囲まれた山間部と肥沃な土壌の扇状地からなり、その中を阿賀川など数本の河川が貫流する内陸性盆地です。産業の主体は農業で稲作を中心に野菜、果樹なども取り入れた複合経営が行われています。

「会津」発祥の起源に由来する伊佐須美神社、東北最古の焼き物



として知られる会津本郷焼などがあり、古い歴史と美しい自然に恵まれています。

- ▼町の花 あやめ
- ▼町の鳥 セキレイ
- ▼町の木 えんじゅ
- ▼面積 276・37km<sup>2</sup>
- ▼人口・世帯数

合計 21,541人  
男 10,337人  
女 11,204人  
世帯 7,281世帯

（平成27年11月1日現在）

▼特産品 会津本郷焼、おたね人参、身不知柿、高田梅、ぶどう・ワインなど

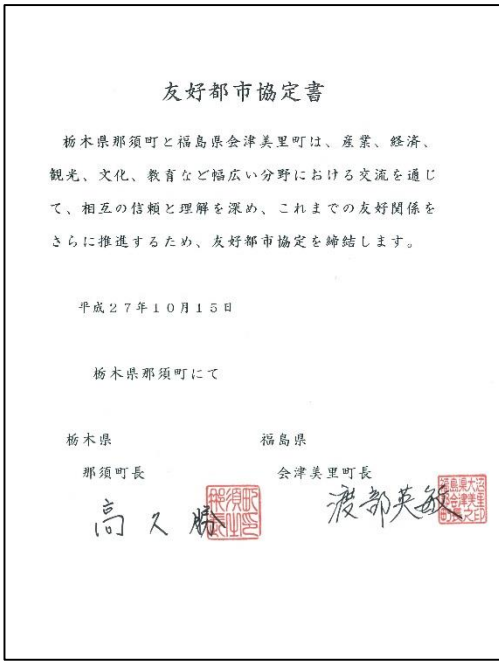
\*会津美里町勢要覧2011、会津美里町ホームページをもとに掲載。

## 友好都市協定書調印式

両町の町長をはじめ議員や町執行部など24名が出席して行われた友好都市協定書等調印式では、両町長が友好都市協定書に調印し、産業、経済、観光、文化、教育など幅広い分野での交流を通じ、お互いの友好関係をさらに深めていくことを確認しました。

これと同時に、災害時における相互応援に関する協定書も取り交わし、災害時における相互の物資提供、避難者の一時受け入れ、職員の派遣等の応援に関する協定を締結しました。

東日本大震災で大きな被害を受けた両町ですが、今後は、この協定に基づき、協力して復興・発展を目指す心強いパートナーが誕生しました。



## 高久 勝 那須町長



友好都市協定及び災害時における相互応援協定の調印ができたことを心から感謝申し上げます。平成20年の九尾まつりに招待したのがきっかけでイベント交流を続け、那須町にはない資源を多

## 友好の思いを込めて

## 渡部 英敏 会津美里町長



会津美里町は、町村合併10周年という記念すべき年であり、その記念の年に協定締結が出来たことは大変意義深く、有難く思っています。交流拡大・推進を図っていくために、様々な組織、団体、そして町民がその輪を広げていく

く有する、会津美里町と協定を結べたことは大変光栄なことだと思っております。

また、両町とも東日本大震災からの復興を喫緊の課題として取り組んでいるところであり、渡部町長とは大規模災害時における相互応援の必要性を確認し合ったところであります。

今後は、産業・教育・観光を含め、お互いの持つ強みを生かしながら交流を図り、両町の発展につなげていきたいと思っております。これからも末永くよろしくお願いいたします。

ことが大切であり、交流によって築かれた信頼と絆を大切にしながら、ともに歩んで行きたいと考えております。

また、災害時相互応援協定も締結させていただきました。両町に暮らす住民の安全・安心を確保するうえで大変重要な意味を持つものであります。災害時に真に心配してくれる自治体があることは大きな心の支えであり、希望であります。

両町にとって大きな力となり、ともに誇れる郷土として発展することを願っています。今後ともよろしくお願いいたします。

## 協定締結のメリット

友好都市協定等を締結することにより、次のようなメリットが考えられます。

- これまでの交流をさらに深め、相互協力を進化させることにより、さらなる交流人口を増加させる期待ができます。
- 両町の特産物等の販売促進による産業振興を図ることができます。
- 災害時の相互支援により迅速な災害復興を図ることができます。
- 教育、文化、スポーツなどの多角的な交流を通じ、町民生活に潤いを与え、町民生活を豊かにすることが出来ます。

